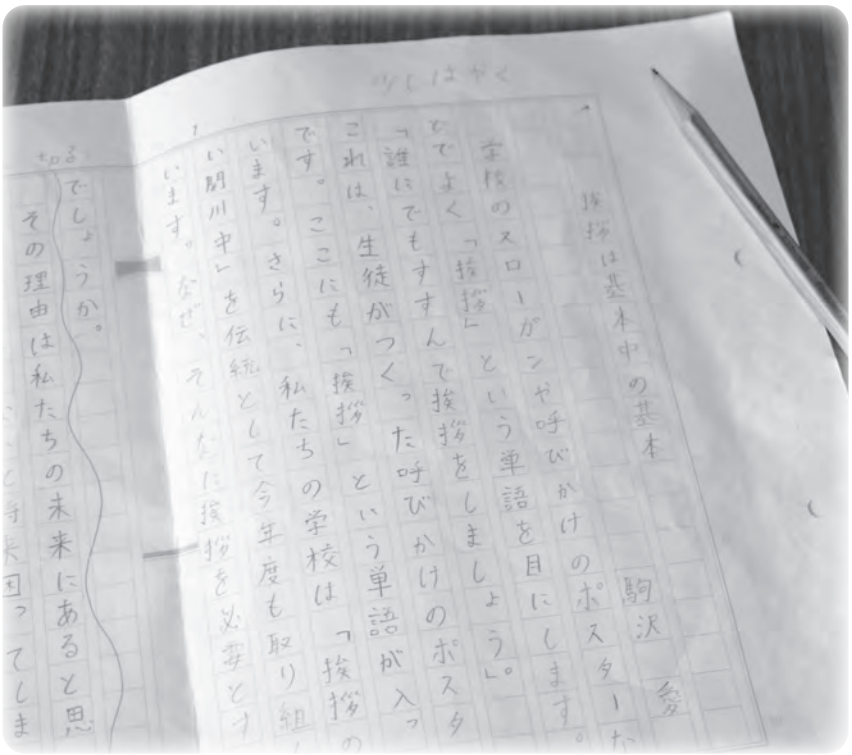
みんなに伝えたい わたしたちの想い

中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が7月21日、関川中学校で開かれました。各学年から選ばれた代表6人が、6分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。

審査の結果、村上・岩船地区大会（県村上健康福祉事務所主催）出場者に駒沢愛さん（3年・鍬江沢）が選出されました。

駒沢さんは、8月22日に行われた同大会で発表し、優秀賞を受賞しました。

＊発表の要旨は次のとおり。要旨は関川中学校提供。



JAPANの力を世界へ

鈴木大輝さん
（1年・下関）

日本にはバスケットボールリーグが二つあり、統合しないとワールドカップに出場できなくなることを知っているだろうか。日本人初の「NBA」の選手になった田臥選手の動画を見て、日本は海外のチームに勝てないという考えから日本の強さを生かせば勝てると考えるようになった。そんな中、世界に挑戦できるチャンスを無駄にせず、ぜひワールドカップに出場してほしい。

日本には日本にしかないものがある。体格では劣る日本人選手が海外で好成績を挙げているように。和食や世界遺産を目当てにたくさんの人が訪れている。このような日本の強さやよいところを生かせば海外に劣らないすばらしい国になると思う。

今から未来へ

和田実樹さん
（1年・勝蔵）

私は小学生の頃、総合的な学習の時間で観光ボランティアをしました。この活動を通して思ったことがあります。まず、地域のことをよく知ることです。歴史ある建物の外見以外に築き上げている歴史が深くあることを知りました。次に、人と触れ合うこと、積極性の大切さです。自分から話しかけていけば観光客の皆さんも立ち止まって聞いてくれました。

私はこの活動で得た「村を知ること」「積極性」の二つをこれからも使って、今の歴史あふれるこの村をもっといろいろな人に知ってもらおうと思います。そして、私たちが高齢者になってもこの村が活気のある地域でいるために村の役に立つことを探して実践していきたいと思います。

2015 関川中学校「わたしの主張」大会

佐藤陽菜さん
（2年・湯沢）

思いやりの行動

混雑しているバスに一人のおばあさんが乗って来ましたがだれも譲る人がいません。その中で一人大きな声を出し高校生くらいの人が譲りました。親や学校などで小さい頃からバスや電車にお年寄りや体の不自由な人が乗車したら席を譲りなさい、と教わってきました。それなのに実行している人はほんのわずかな気がします。誰かが譲るまで待っていることや面倒くさいから譲らないという気持ちをもってはいけないのだと思います。譲らないのは冷たい社会の現れです。席を譲る。そういう思いやりの心が大切だと思います。私は率先して譲ったり、助けてあげたいと思います。大人になってもそういう気持ちを忘れず生きていきたいです。

大島瑠夏さん
（2年・上野新）

違うということは素晴らしい

誰かよりも強く偉くありたい。誰もがそのように思ったことはないだろうか。でも、皆平等でよいと思う人もいるだろう。その他にもあらゆる考え方があるだろう。違うから個性が生まれておもしろい。対立することがあっても個性を受け入れる努力をしてほしい。勇気をもってほしい。将来、いや今からどんな人でも誇れる社会を築きたい。誰かの考えが正しくて間違っているわけではない。でも人として自分勝手な思いで人を傷つけてはいけない。誰もがどんな人をも受け入れる広い心をもってほしい。そしたら、もっと広い世界、明るい世界が見えてくるのではないだろうか。さあ、皆さんも個性を受け入れる心の扉を開いてみませんか。

駒沢　愛さん
（3年・鍬江沢）

挨拶は基本中の基本

学校のスローガンや呼びかけのポスターによく「挨拶」の単語を目にします。辞書には五つも意味があり、重要性のある言葉なんだと思いました。挨拶はタイミングが大事で、相手を見つけたらすぐに挨拶する、自分と相手との距離を気にするとうまくできます。また、真っ直ぐ見るだけで心のこもった挨拶ができると思います。挨拶は大人になってするものではありません。挨拶さえちゃんとできれば人間関係で悩む率も下がると思います。また、優秀な人でも挨拶ができなければ人としての評価は下がってしまう気がします。未来のために今からしっかり挨拶の基礎を身につけましょう。私は、人に会ったら思いを込めてしっかり挨拶したいです。

山口大斗さん
（3年・蛇喰）

一人一人が守るべきこと

私は会津藩の「十の掟」から感じたことを述べます。誰かを守る嘘なら時には必要ですが多くの場合、嘘は悪意あるものです。嘘をつかないことで信頼が高まります。また、些細なことでも卑怯な振る舞いを繰り返すと、すぐにそのことを考えたり、相手を疑ったりするかもしれません。嫌われ、困るのは自分であり、改めるべきです。最近「ネットいじめ」をよく聞きます。ネットやSNSは人の悪口を書く所ではなく、これこそ卑怯です。文句があるなら一対一で堂々と張り合い、いじめをしたなら真っ先に謝るのが一番です。一人一人守るべきことがあります。これらのことは将来どんな大人として生きるのかという点でとても大切なことだと思います。